

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所5号機シュラウドの目視点検終了について

平成15年5月22日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所5号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)は、3月1日からの定期検査において、シュラウドの各溶接線について水中カメラ^(注1)を用いた目視点検を実施しており、5月21日に目視点検が終了しましたのでお知らせいたします。

目視点検によりシュラウド中間胴溶接線(H4)の内側近傍に1箇所のひび、および上部中間胴縦溶接線(V14)近傍に1箇所のひびを確認しました。

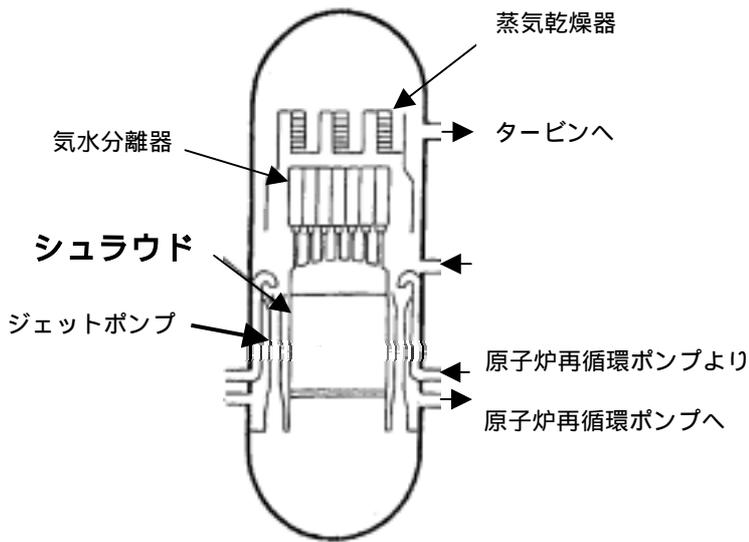
(5月20日お知らせ済み)

その後、当該溶接線以外のシュラウド溶接線の目視点検を進めてまいりましたが、ひびは確認されませんでした。

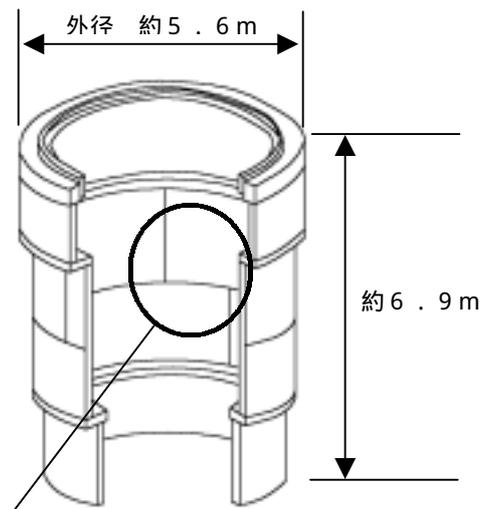
今後、ひびが確認された箇所については、超音波探傷検査を実施してまいります。

以上

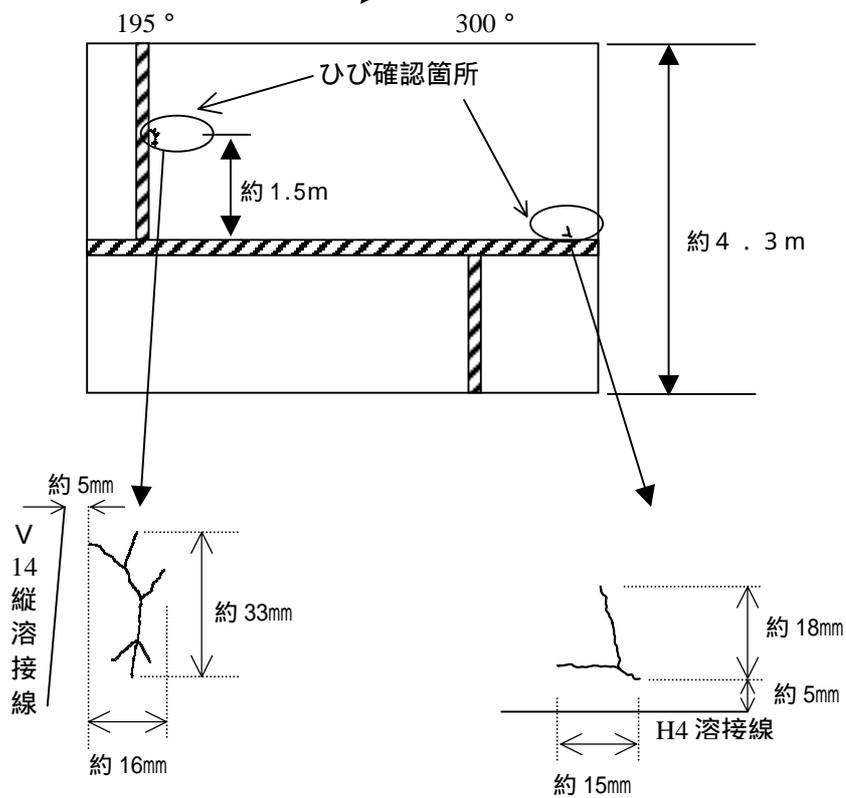
(注1)点検に使用している水中カメラは、10~30cm離れた距離から直径1/1000インチ(0.025ミリ)のワイヤが識別できる程度の精度を持つものです。



原子炉圧力容器概略図



シュラウド構造図



柏崎刈羽原子力発電所 5号機シュラウド
外観目視点検状況